

支部一丸となって、反弾圧・権利 防衛の長期非協力闘争を闘う

全員総決起で敵の攻撃を 粉碎する―吉田支部長あざつ―

館山支部は5月12日、支部委員会を開催し、既得権剝奪攻撃・6名の仲間への出頭命令攻撃と断固闘いぬく方針を決定しました。

あいさつに立った吉田支部長は、

「2年前の勤労千葉の『本部』巡組合員に対するオルグ行動に対し、泉警は、監禁強要」をデッチあげ、任意出頭攻撃をかけてきている。これは『本部』革マルのタレコミによるものであり断じて許せない。今、当該4支部は箠滅体制をもって敵のつけ入るスキを与えず支部ぐるみの総決起で権力の攻撃を押しこんで6名の仲間を守り、重要な勝利への闘いをつみ上げてきている。

館山支部も全員決起をもって共に闘う。現在、取場規律の厳正。の名のもとに既得権剝奪をはじめ、労働組合組織と運動を根底からぶっつぶさうというような攻撃が、これと一体化してかけられてきているが、今こそ全員一丸となって、この攻撃に対決し、反撃に打ちあがる」と決意をこめて訴えました。

した。

続いて本部を代表して水野副委員長から、オ一に、デッチあげ刑事弾圧の内容と取り組み、オ二に、既得権剝奪攻撃の具体的内容と闘いの方向性、オ三に、国鉄労働運動解体攻撃の政治的狙いと背景について報告をうけました。

支部執行部より方針が提起され、討論を行ないました。が、国鉄当局の一方的な既得権剝奪攻撃に対する激しい怒りが述べられ、交渉と取場闘争の強化をもって徹底的に闘いを強化しようとの多くの意見が出されました。また、館山支部の特性に依じた具体的反撃の取り組みと、勤労千葉全体の取り組みについての統一した闘争指導強化の要請も出されました。委員会は最後に、こうした国鉄当局の一方的な既得権剝奪攻撃に対し具体的な取組から反撃に立ち上る決意と6月集会の成功にむけて全力でとり組む事を確認しあわせて現場長に対する大衆団交を行うこと、6月を期して具体的な長期非協力闘争を展開していく事を全体で確認し成功裡に委員会を終了しました。



82.5.19

No. 1047

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(会館)四五二七〜二七〇七

館山支部通信

員・発



米帝レーガンの軍拡・核 戦争政策は全世界を核 戦争の危機へと引き込んで いる。日本の支配階級も 軍事大国化 改憲 安保強 化 被爆者をもて戦争への 道を進んでいる。

「ロシア・ナガサキ・ヒビキをくりかえす」の力を叩きつけねばならぬ。三里塚三期着工阻止、反戦・反核の闘いに共に起しよう。5月23日(日)起

核で未来脅かすな

NY市子ども2千人が集会

「ニューヨーク十六日(日)午後、連日各地で反核の闘いが行われている米國で千

六百、子供による反核集会在ニューヨーク市のセントラル・パークで開かれ、二十近い子供たちが会場の野原を駆けまわった。主催は八歳から十八歳の子供たちで組織する「フューチャー・ゼネレーション(未来世代)」だ。この中核となったのは、テルドレンス・エクスプレスという子供だけの通信誌。現在約三百人の記者が働き、シカゴ・サンズ、フュリアー・サークル誌など、金米四大新聞、雑誌にコラムを寄稿し、子供の目から見た鋭い社会問題を大人気がある。この記者仲間、「核戦争が起きれば、一番の被害者は自分たちだ」と意見が一致、フューチャー・ゼネレーションが組織された。この日の集会には、同市の「核軍縮を訴える若者連盟」の「現代」が、「未来世代」を全面的に支援した。また、十三歳でニューヨーク大学入学を認められ、同大学の最年少記者として「ニューヨーク・パックス」を創設したスティーブン・バックス君が、米政府の核政策に対する激しい批判を述べ、小中高校の力にキラムに核反対教育を盛り込むこと、若々々と集会を主催したバレン、反核ロケットの公開演説、このクルルは、六月十三日に開催される特別集会に合わせて行われる。国鉄にも参加する。



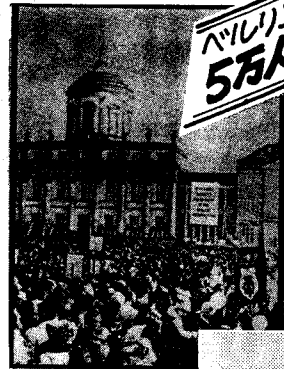
ギリシャ

アテネ 20万



ロンドン 25万

アムステルダム 40万



パリ 5万人

5.23 反核 集会に決起しよう

82.3.21 ヒロシマ集会には20万人が結集した。



ボン 30万



フランクフルト 10万

パリ 10万

ローマ 30万

フランクフルト 20万

ヒロシマ 20万

ブリュッセル 3万人



マドリード 50万



ワシントン 50万

闘争場コロッセウムの前を行進する学生たち 横断幕には「戦争反対の理念」とある